



衣類の「取扱い表示」が変わります！！



今年の12月1日より、「衣類の取扱い表示」が大きく改正されます。

近年、衣類を取り巻いている環境が大きく変化している事が理由として挙げられます。例えば・・・

- ◆ 海外との取引が一般的になっている。
- ◆ 家庭で洗濯する場合の「洗剤類」や「洗濯機」の多様化
- ◆ 商業クリーニング技術の進歩等。このような変化に対応する為の改正です。

新しい「取扱い表示」のポイント



★記号のデザインが新しくなります

- 1) 「国際規格」ISOと同じ記号を使用。国内外で表示が統一されます。
- 2) 基本の記号に、線「—」や点「・」の付加記号や数字の組み合わせで表します

● 5つの基本記号



*上記の順に表示されます。

● 付加記号と数字 文字ではなく、記号と数字で強さや温度、禁止を表します。

〈強さ〉基本記号の下に付加

〈温度〉基本記号の中に付加

〈禁止〉

線なし 通常の強さ

— 弱い

== 非常に弱い

「線(—)」が増えるほど作用は弱くなります。

〈記号〉

「●」 「●●」 「●●●」 【例】 40

低 → 高

タンブル乾燥やアイロンの温度は「点(●)」で表します。数が増えるほど温度は高くなります。

〈数字〉

数字は家庭洗濯での洗濯液の上限温度です。

✕

基本記号と組み合わせで、禁止を表します。

★記号の種類が増えます

- 1) これまでなかった記号が追加され、より細かな表示になります。
- ※「タンブル乾燥」「酸素系漂白剤」等の記号が追加されます。

★表示は取扱い方の「上限」を表しています

- 1) 現行はメーカーが適切とする洗濯方法を「推奨表示」としてラベルに付けていましたが、「上限表示」となる為、表示よりも強い取扱いをすると衣類にダメージを与えます。

★参考情報が簡単な「用語」で付記される場合があります。

- 1) 記号だけで伝えられない情報は、記号の近くに記載されます。
- 例)「洗濯ネット使用」「弱く絞る」「あて布使用」など

- まとめ:**
- 「取扱い表示」やタグなどは、洗濯や手入れの情報源となります。しっかり読んで理解しましょう。
 - 衣類の購入時にも「取扱い表示」を確認して、洗濯やお手入れの参考にしましょう。
 - 不明な事があれば、その場で販売員に尋ねる事も大切です
 - 「取扱い表示」を正しく理解して、洗濯やお手入れ方法を見直しましょう